

平成30年8月17日(金)
愛知県産業労働部産業科学技術課
科学技術グループ
担当 鹿野、西
内線 3383、3384
電話 (052)954-6351 (ダイヤルイン)
愛知県政策企画局企画課
企画第二グループ
担当 水野、村瀬
内線 2258、2329
電話 (052)954-6089 (ダイヤルイン)

知事の東南アジア渡航中の行事結果について

8月17日午前、知事は、シンガポール政府のチー・ホン・タット貿易産業省上級国務大臣と面談し、同日午後に予定しているシンガポール国立大学（NUS）との「科学技術分野における連携協力に関する覚書」（覚書）の締結を報告しました。また、セレーター・エアロスペース・パークを訪問し、航空宇宙産業への支援の取組について視察しました。

同日午後、NUSにおいて、NUSのタン総長と覚書を締結するとともに、覚書の締結を記念して「覚書締結記念セミナー」を開催しました。

1 チー・ホン・タット貿易産業省上級国務大臣との面談（担当：産業科学技術課）

(1) 日時

8月17日（金）10:00～10:30（日本時間8月17日（金）11:00～11:30）

(2) 場所

貿易産業省

(3) 面談者

チー・ホン・タット貿易産業省上級国務大臣

(4) 愛知県側

大村知事、名古屋大学松尾総長

(5) 内容

大村知事からチー上級国務大臣に対し、同日午後に予定しているシンガポール国立大学との科学技術分野における連携協力に関する覚書の締結を報告するとともに、本覚書に基づき、愛知とNUSが連携を深め、アジア地域のイノベーションの拡大につなげていきたい。愛知・日本とシンガポールが人材交流を深め、イノベーションを起こし、ウィンウィンの関係を築いていきたいとの挨拶をした。

これに対して、同大臣からは、両者の連携協力に大いに期待する。シンガポール政府として全面的にサポートしたいとのコメントがあった。

知事とチー上級国務大臣の写真



面談参加者全員の記念撮影



2 セレーター・エアロスペース・パーク訪問（担当：産業科学技術課）

(1) 日時

8月17日（金）11:00～11:40（日本時間8月17日（金）12:00～12:40）

(2) 場所

セレーター・エアロスペース・パーク

(3) 説明者

セレーター・エアロスペース・パーク代表者

(4) 内容

知事は、セレーター・エアロスペース・パークの概要について説明を受けた後、同施設に入居している企業等の建物をバスで視察した。

参考：セレーター・エアロスペース・パークの概要

- ・シンガポール北東部セレーター空港を中心とした航空機関連産業向けの工業団地。ロールス・ロイスなどの企業が入居している。
- ・今後、このパークの開発を行うことで、エンジン製造、人材研修と産業の奥行の拡大を目指している。

セレーター・エアロスペース・パークの概要説明



3 シンガポール国立大学（NUS）との覚書締結式（担当：企画課）

(1) 日時

8月17日（金）13:45～13:55（日本時間8月17日（金）14:45～14:55）

(2) 場所

NUS 総長室内会議室

(3) 覚書署名者

愛知県：大村知事

NUS：タン・エン・チャイ総長

(4) 内容

昨年8月の知事とNUS総長との面談以降、両者及び関連機関で研究交流について詳細な協議を進めた進捗を踏まえて、本県とNUSとの間で、材料工学、交通工学、老年医学・老年学などの科学技術分野における連携協力に関する覚書が締結された。

また、名古屋大学松尾総長とNUSタン総長との間でも、知事立会いの下で、研究・教育の交流など全学的な連携協力を推進するための「全学協定」と、全学的な学部生の交換留学を実施するための「全学学生交流協定」が締結された。

<愛知県とNUSとの覚書の内容>

ア 趣旨

愛知県とNUSで、科学技術分野における包括的な連携協力を推進。この推進に当たって、愛知県は、名古屋大学や国立長寿医療研究センター等の関連機関によるNUSとの連携協力を促進。

イ 連携協力の範囲

- ・材料工学
- ・交通工学
- ・老年医学・老年学
- ・情報科学
- ・双方で合意されたその他の分野
- ・双方の若手人材の育成

ウ 覚書の期間

5年間（書面による双方の合意により、延長することができる。）

<名古屋大学とNUSとの協定の内容>

① 全学協定

ア 趣旨

名古屋大学とNUS間において、全学的な連携協力を推進するために締結。

イ 連携協力の範囲

- ・教育及び研究のための大学院生、学部生の交流

- ・ 研究、教育及びその他の議論のための研究者、教職員の交流
 - ・ 各当事者が知的財産権を有する科学的・学術的・技術的情報、適切な学術資料及びその他の相互利益に資する情報の交換
 - ・ 相互利益に資する交流、協力、共同研究、開発の機会の創出
 - ・ 技術の商業化の機会の創出
 - ・ セミナーや会議など、共同で行う学術的・科学的活動に関する企画及び参加
- ウ 協定の期間
5年間（書面による双方の合意により、延長することができる。）

② 全学学生交流協定

ア 趣旨

名古屋大学とNUS間において、全学的な学部生の交換留学を実施するために締結。

イ 交換留学生の数

1年あたり3名ずつ

ウ 参加学部

- ・ 名古屋大学
文学部、教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、工学部、農学部
- ・ NUS

人文社会科学部、コンピューター学部、理学部、工学部、環境デザイン学部

エ 学生の単位認定

交換留学生は、留学中、学位取得及び卒業を目的としない学生として受入大学に登録される。また、派遣元大学は、受入大学での留学期間終了後に、派遣学生が取得した履修モジュール／コースの単位認定を行う。

オ 協定の期間

5年間（書面による双方の合意により、更に5年間更新することができる。）

愛知県とNUSとの覚書の締結



名古屋大学とNUSとの協定の締結



NUSタン総長、知事、名古屋大学松尾総長の写真



覚書締結式参加者による集合写真



4 覚書締結記念セミナー（担当：産業科学技術課）

(1) 日時

8月17日（金）14:00～16:00（日本時間8月17日（金）15:00～17:00）

(2) 場所

NUS University Auditorium

(3) 出席者 約80名

- ・シンガポール国立大学
シンガポール国立大学教員・学生
- ・現地日本政府
在シンガポール日本大使館
- ・愛知県訪問団
大村知事、名古屋大学松尾総長、ジェトロ名古屋梶田所長 等

(4) 次第

- ・開会あいさつ
- ・基調講演 名古屋大学 天野教授
- ・講演 NUS ジョーン・ワン教授
あいちシンクロトロン光センター 竹田所長
名古屋大学 森川教授

(5) 内容

知事は主催者として、知事とNUS総長が、同日実施されたNUSとの覚書締結式において、科学技術分野における連携協力に関する覚書に署名したこと、NUSとのこれまでの連携の経緯について言及し、愛知県とNUSとの連携が、アジアのみならずグローバルなイノベーションの創出につながることを期待する旨の挨拶をした。

セミナーでは、ノーベル物理学賞受賞者である天野浩教授による基調講演を実施したほか、研究者による材料工学及び交通工学の分野に関する研究内容のプレゼンテーションを実施した。

タン・エン・チャイ総長による挨拶



知事による挨拶



名古屋大学松尾総長による挨拶



名古屋大学天野浩教授による基調講演

